



2022年8月31日現在
 組合員数 140,710人
 班数 2,767班
 出資金 2,157,493千円
 鹿児島医療生協ホームページ <http://www.kiseikyo.or.jp/>

医療生協だより

2022年10月号

鹿児島医療生活協同組合
 鹿児島市谷山中央5丁目12番3号
 電話 (099) 268-8955
 FAX (099) 269-7199
 編集 機関紙編集委員会
 発行責任者 専務理事 福 峯 清 行



嘉例川駅（霧島市） 写真協力：公益社団法人 鹿児島県観光連盟

2022年秋の生協強化月間スタート！

できることからやってみよう！

みんなで描く居心地よいまちづくり



生協強化月間は、1948年消費生活協同組合法の施行を記念して、生協を知らせ広めるために全国の生活協同組合で様々な活動が取り組まれます。いのちと健康を守り、一人ひとりが自分らしく暮らせるまちづくりをめざして、大きな飛躍をつくりましょう。

つながりを大切に！

新型コロナウイルス感染の予防対策を徹底して、これまでのつながりを絶やさず「これならできる」「これをやってみよう」と工夫しながら、孤立によるフ

地域の医療・介護・福祉を守り、わたしたちの事業を支え、発展させるために「医療生協に加入してよかった」と感じられる取り組みを組合員と職員が協同し、ひとつずつひろげましょう。また、いのちに関わる問題や身近にある子ども・若い世代・高齢者などの社会問題に目を向けて、子ども支援や平和と人権を守る取り組みをすすめ、安心のネットワークを広げましょう。

組合員と職員が協同して！

レイル・オーラルレイル予防の実践や地域訪問行動、電話かけなど強化月間にふさわしいつながりで楽しい健康づくり、まちづくりの活動をすすみましょう。

地域ともつながって！

あらゆる世代のひとりぼっちを防ぎ、「誰一人取り残されない」社会にむけ、地域の諸団体やさまざまな人々と連携し、「地域の困った」をおたがいさま活動につなげて医療生協の地域包括ケアづくりをすすめていきましょう。

創立50周年に向けて！

医療機関は病気や介護などでいざという時に利用するだけではなく、病気の予防や早期発見、早期治療のために健康診断や予防接種も積極的に受けましょう。今年の月間は支部や事業所が運営するわいわい健康づくり企画や医療講演会、組合員レクリエーションなどに参加して、楽しく学習し交流してみませんか。医療生協は2024年2月に創立50周年を迎えます。これまでの確かな歩みを土台に、将来の夢を語り、つどい、笑顔あふれる取り組みをすすめ大きな飛躍となる月間としましょう。



▼経済産業省が8月に公表したレギュラーガソリンの都道府県別平均小売価格では、鹿児島県は1ℓ当たり179.1円で全国ワースト4位。海外から輸入された原油は製油所で精製され、タンカーやタンク車などで各地の継基地に運ばれます。国内の製油所は関東や関西に集中し、九州は大方の1ヶ所だけ、競合不在と輸送コストがその要因です。▼国土交通省は先日、鹿児島市の市街地は、道路の混雑割合が全国ワースト1位との結果を明らかにしました。全国の都道府県庁所在地の中で人口が17位の鹿児島市、平地が少ない地形や道路ネットワークが背景にあるようです。公共交通機関の利便性向上や道路網の整備が課題です。▼「武士の矢橋の船は速けれど急がば回れ瀬田の長橋」室町時代に詠まれた和歌で「琵琶湖を渡るのに矢橋から大津へ出る船は速い。でも風が強いと遅れや転覆の危険があるので、回り道でも安全に瀬田の長橋を渡るべき」という意味です。▼「急がば回れ」の精神は、遠回りに思えても確実なやり方を選ぶほうが良いということを表しています。医療生協の健康づくり・まちづくりの活動にも近道はありません。どのように頑張ったのか、どのような取り組みをしているか、その過程を大切にしながら。



第35回 鹿児島県高齢期を考えるつどい

8月25日(木)、鹿児島市勤労者交流センターを主会場に、オンライン視聴も含め110名が「鹿児島県高齢期を考えるつどい」に参加しました。

「鹿児島の戦跡やその歴史について」と題して、東川隆太郎氏(かごしま探検の会)に講演していただきました。

講演では、写真スライドを上映して鹿児島県内の戦争遺構を紹介しながら歴史的背景について話され、改めて平和の大切さや後世に伝えることの大切さを強く訴えられました。

参加者からは、「戦争のない平和な社会を強く望みます」、「知覧の特攻のことなど若い世代に知って欲しい」などの感想が多く寄せられました。



SDGs (持続可能な開発目標) を身近に!



8月20日(土)、かごしま県民交流センターを主会場に鹿児島医療生協・生協コープかごしま合同学習会を開催し、オンライン視聴も含め152名が参加しました。

学習会は【SDGs(持続可能な開発目標)と生活協同組合～わたしたちがめざす未来～】と題して、生協コープかごしまの松菌理事長に講演していただきました。

わたしたちが取り組んでいる「おたがいさま活動」や「無料低額診療事業」などの事業活動が、“あらゆる年齢のすべての人の健康な生活を確保し、福祉を増進すること”を目標としているSDGsにつながっていることなどにもふれて、誰もが笑顔で安心して暮らせる社会の実現のため、私たちに何ができるのか模索しながら行動を起こしましょう、鹿児島県の医・食・住を通じて「生協があって良かった」と思っていたけりよう、今後も取り組みを推進していきましようと言われました。



「タマ
②日
その
艦隊
や国

私たちがの班会「きばらん会」は、毎月一回絵手紙を楽しんでいます。班結成は2007年、もとは太極拳の仲間が集まり、絵手紙をしよう!と始まりました。あれから長い年月が経つので、皆それぞれ体調を崩すときがあればお休みをして、元気がなったらまた参加をして...と繰り返しながらこれまで続けてきました。



吉野東支部

きばらん会

班員 原田 トヨ子

贈る「てがみ」。家にいる今こそ絵手紙のはじめどきです。コロナでなかなか会えない大切な人に絵手紙を送ってみませんか。



世界で1枚だけの絵手紙に心をこめて...

きばらうず 気楽に

私たちの班会「きばらん会」は、毎月一回絵手紙を楽しんでいます。班結成は2007年、もとは太極拳の仲間が集まり、絵手紙をしよう!と始まりました。あれから長い年月が経つので、皆それぞれ体調を崩すときがあればお休みをして、元気がなったらまた参加をして...と繰り返しながらこれまで続けてきました。

こともしよつちゅうです。班名はきばらん会ですが、実際はきばらうず気楽に楽しんでいる私たちです。コロナの前は、たまに開催するお食事会も楽しみでしたが、ここ数年はそれもできず寂しい限りです。

絵手紙は、はがきに絵を描き、ことばを添えて、

調理師さん教えて
鹿児島の
食材を使って



鹿児島生協病院
調理師 新留 和巳

じつは、鹿児島県は北海道に次いでカボチャの生産量2位ってご存じでしたか？カボチャの最盛期は7～8月ですが、数カ月寝かせる事で、甘味が増して美味しいカボチャになります。冷凍保存出来るので多めに作って、お弁当用や、もう一品欲しい時に便利ですよ！



カボチャコロッケ

(1人分 370kcal 塩分0.8g)



(写真は2人分)

材料(2人分)

- カボチャ…200g
 - 豚ひき肉…70g
 - 玉ねぎ…1/2個
 - 塩小さじ…1/2
 - コショウ…少々
 - 油…小さじ1
 - 揚げ油…適量
 - レタス
 - ミニトマト
- 【衣用】
- 小麦粉…大さじ1
 - 卵…1個
 - パン粉…1/2カップ

作り方

- ① カボチャの種をスプーンで取り除き、2センチ角に切る。耐熱容器に入れてラップをかけて電子レンジ600Wで5分加熱し、柔らかくなったらボウルに移してマッシャーやフォークでつぶす。
*カボチャの皮はそのままですが、歯ざわりが苦手な方は剥いて下さい
- ② フライパンに油小さじ1を入れ、みじん切りにした玉ねぎを炒める。玉ねぎに火が入って透きとおってきたら豚ひき肉を入れ、豚ひき肉の色が変わってきたら塩とコショウで味をつける。
- ③ ①に炒めた玉ねぎと豚ひき肉を入れてよく混ぜる。丸や小判型など食べやすいサイズに整えて、小麦粉→溶いた卵→パン粉の順でつけていく。
*多く作りすぎたらこの段階で冷凍保存しましょう。冷凍保存した場合は1ヶ月を目処に食べ切るようにしましょう
- ④ 170～180℃の油で揚げて、こんがり色がついたらしっかりと油を切って付け合わせの野菜と盛り付けて完成です。



今回はカボチャの旨味を活かしたコロッケです。少し物足りない場合は別途ケチャップをつけても美味しいですよ♪

前回は「ノラネコぐんだんパン（工藤ノリコ・白泉社）：43cm×46cmで見開き92cmの大型絵本。
（ワンワンちゃんのパン工場
で製造法をのぞき見したノラネ
コ8匹が、夜中にこっそり工場
にしのびこみパン粉をこねて焼
き始める、やがて窯ごとパンが
膨らんで…ガッタン、ガッタン、
シューーッ…ドッカーン！！
窯も工場も吹っ飛んだが、大
きくていい匂いのパンが焼きあ
がった！そして…」



～ニャーは要らない！～

川野 恭司
(大学非常勤講師、
鹿児島子ども研究センター所員)

絵本にはあちこち「ニャー」の鳴き声が出てきます。「ニャー、パン食べたいね」「ああやってつくるんだ。かんたんだね ニャーニャー」「さあ つくろう、おいしいパンーニャー ニャーニャー」等々、あわせて24回。読み手は、そのたびにネコの声音よろしくリズムをとって声を張る。子どもたち（低学年10数名）は、じーっと見入って（聴き入って）いました。ところが、6回目の鳴き声だったか、ある女の子が「ニャーはいらない」とマスク越しにつぶやいた！すると、鳴き声のたびに2～3人が「いらない」をつぶやくのです。さすがにクライマックスに入るとつぶやきも消えてぐっと集中し、めでたく終了。皆さん、かわいい小さな手で拍手してくれました。

以下は反省会で。「ネコ嫌いなのかな」「ニャーが耳障りなんだわ。話の流れが途切れてしまつて」「でも途中から『いらない』が消えたよ。あきらめたの？」「ただ張り上げていたニャーに、後半私たちが気持ちこめたからよ。子どもってこわい」